

# 「見ごろ・撮りごろ」情報

「インスタ映え」写真や「フォトジェニック」な写真が撮りたい！

しかし、暑いところはヤダ！涼しいところ！に行きたい！

そんなときは水族館に行ってみてはどうでしょうか？

都内にも多数の水族館があり、気軽に足を運びやすいかと思えます。

そんな水族館での撮影の注意点や、初心者でも簡単に撮影できるテクニックをご紹介します！

## 1. ほかのお客さんへの配慮

水族館は公共の場です。撮影に夢中になるあまり、長時間同じ水槽の前を独占したり、割り込んで撮影をしようしたりなど、他のお客さんに迷惑をかけないようにしましょう。

他にも混雑している土日祝日や、混雑している時間帯を事前に調べて避けるなど、まわりへの配慮を心掛けましょう。

おススメは、イルカやアシカショーなどイベントのある時間帯はやはり水槽などの展示は比較的空きますので、計画的に撮影を行うと良いでしょう。

## 2. 三脚の使用は原則禁止

館内が暗い水族館では、暗さゆえの「ブレ」が起こります。

手持ち撮影で、しかも被写体となる生き物は絶えず動いていますから、被写体を追いかけてながら撮影をするとどうしても「手ブレ」、「被写体ブレ」を起こしやすいです。

しかし、ほとんどの水族館では三脚を立てての撮影は禁止です。三脚を立てると場所をとりますし、他のお客さんの迷惑となるからです。水族館では手持ちでの撮影をしましょう。



## 3. フラッシュ撮影は禁止

三脚同様、多くの水族館ではフラッシュ撮影は禁止となっています。

水族館によってはフラッシュ撮影の可否を水槽に表示されている水族館もありますが、生き物のストレスやまわりのお客さんのことも考えて原則使えないと考えたほうがよいでしょう。

## ◎原則的な撮影設定は

カメラ初心者ですと、やっぱり「オートモード」で撮影しがちですね。

しかし、今回は水族館にあわせた設定をして「オートモード」を卒業しましょう。

モード設定は概ね3モードあります。①【P】プログラムモード ②【Tv】【S】シャッター優先モード ③【Av】【A】絞り優先モード

水族館館内では【Tv】【S】シャッター優先モードで、まずは基本となる設定をしましょう。

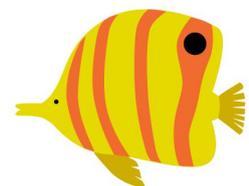
そこから水槽の明るさや被写体の動きなどに合わせて、設定を変えていながら撮影をします。

下記が基本の設定となります。

モード：【Tv】【S】シャッター優先モード

シャッタースピード：1/200 露出補正：±0 ISO感度：オート ホワイトバランス：白熱電球

※水族館内の撮影では青が加わる「白熱電球」がおススメとなります。



## 水族館の写真撮影にお勧めは！

東京都品川区にある「しながわ水族館」です。

川崎北部地域から行きやすい、他の水族館に比べて約半額以下料金(65歳以上 ¥1200)

京浜急行「大森海岸駅」より徒歩8分「しながわ区民公園」内にあり、「海や川とのふれあい」をテーマに、沢山の海や川の生き物たちを見て、体感できる水族館です。

〒140-0012 東京都品川区勝島3丁目2-1 TEL:03-3762-3433

京浜急行「大森海岸駅」下車 徒歩約8分

JR 京浜東北線「大森駅」下車、北口改札より徒歩約15分

JR 京浜東北線「大井町駅」から無料送迎バスあり

駐車場あり(有料/96台駐車可能)

営業時間:10:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日:1月1日、毎週火曜日(春休み・GW・夏休み・冬休みは営業)



シャッター優先:1/200, 露出補正+2,  
ISO感度:6400, ホワイトバランス:白熱電球



シャッター優先:1/200, 露出補正+2,  
ISO感度:6400, ホワイトバランス:白熱電球

